

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

平成30年1月31日 発行 第69号

健やかな未来へ LOVE BLUEの想いを伝えていくために



一般社団法人
日本釣用品工業会
会長 島野 容三

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は（一社）日本釣用品工業会（日釣工）の活動に、多大なるご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、平成30年が明けました。「国の内外にも天地にも平和が成るように」という願いが込められたこの年号も、いよいよ残すところわずかとなってまいりました。実際の世は果たして、わが国を含め世界情勢は過去にない緊張状態が続き、自然災害そして人災も併せ、世界各地で天変地異に苛まれるニュースが報告されています。また、その真価が問われる米国の変革や、ブレグジットの行方が注目される欧州経済、中国が推進する「一帯一路」構想など世界的なうねりの中で、わが国としても相当の覚悟と知恵が求められることは間違いありません。昨年といえば、そうした情勢の中で国内では内輪もめばかりが繰り広げられたという印象が否めず、本年はぜひとも新しい年号に向けて前向きな突破口が開かれる一年にしていきたいものです。

私ども日釣工の活動も、平成4年の設立から早四半世紀の歳月を数えることとなりました。「釣用品工業の進歩発展…」という当初の目的はもとより、釣り環境の整備及び社会的貢献についても重要な責務とし、『つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業』の展開も、さまざまな場面で有形無形の成果をあげております。平成24年からは「清掃」「放流」「釣り場拡大」を3つの優先事業として活動してきましたが、現在では賛同いただく企業も250社・団体を数え、全国各地の皆さまとの連携・ご協力のもと、地道な活動が着実に根付いてまいりました。また、鹿児島県山川町からの感謝状を初めとして、各地の漁業者・関係団体から続々と感謝の声を頂戴しておりますし、政府主催の「海と日本プロジェクト」の総合開会式・記念祝賀会へも公式にご招待を受けるなど、改めてこの活動の社会的意義、重要性を再認識している次第です。

「放流事業」につきましては、昨年も専門機関との連携により、東京湾口3カ所にてマダイ種苗20万尾の放流を実施、過去5年間の累計で100万尾を数えることとなりました。神奈川県内の調査では、市場を流通するマダイの約6割がそれら放流マダイであることが報告されており、近隣で釣りを楽しむ方からも「東京湾でマダイが釣れることが大事」といううれしい言葉が聞かれるようになってきています。また、地球環境基金との協働により水辺の環境保全活動を行う諸団体を支援する「LOVE BLUE助成」も、清掃活動や水辺の生態観察、里海文化の保全と継承など、全国各地さまざまな形で実を結んでいます。こうした「LOVE BLUE」の想いを具現化する活動とともに、全商品に添付をお願いしております「環境・美化マーク」につきましても、釣具店さまには引き続きご協力を賜りお力添えいただけますよう、改めてお願い申し上げます。

さて、本年も1月19日（金）～21日（日）の3日間、みなとみらい・パシフィコ横浜にて『ジャパンフィッシングショー2018』を開催いたします。昨年に引き続き「LIVE ディープな魅力、ライブな感動。」をキャッチフレーズに、一年でもっとも早く釣りの面白さ、楽しさをお届けする舞台として、最先端の日本の技術が生む新製品の数々と釣り文化を発信してまいります。一般公開時間の延長や釣種エリアの充実、オリジナルグッズの販売など、ご来場のかたにもさらに満足いただける企画が目白押しです。釣具店さまにおかれましても、こうした趣旨をご理解のうえ広くお知らせいただくことで、お店の活性化にお役立ていただければと存じます。また今回、初日のオープニングセレモニー後に、臨港パークにて「LOVE BLUE事業放流式典」を実施いたしますので、ぜひご参加いただけますよう併せてご案内申し上げます。

日釣工は今年も、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、環境に配慮した道具づくりをはじめとして、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組んでまいります。本年も変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

CONTENTS

島野会長ご挨拶	P.1
ジャパンフィッシングショー2018 in YOKOHAMA 開催報告	P.2
LOVE BLUE事業活動報告	P.4
規格・安全委員会活動報告	P.5
第21回「釣用品の国内需要動向調査報告書」発刊のご案内	P.7
第21回理事会開催報告	P.7
会員向け初回無料法律相談のご案内	P.7
ロイヤル アングラー賞2018	P.8
会員動向	P.8
事務局だより	P.8

目次



～ジャパンフィッシングショー 2018 in YOKOHAMA～ ディープな魅力、ライブな感動

ジャパンフィッシングショー2018は、経済産業省、神奈川県、横浜市、(公財)日本釣振興会、全国釣竿公正取引協議会の後援のもと横浜・みなとみらいにあるパシフィコ横浜で海外企業を含む172社(団体)693小間の出展を得て1月19日(金)から21日(日)までの3日間にわたり開催され、41,501名(前年比107.4%)の来場をいただきました。オープニングセレモニーは初日9時15分よりメインステージで行なわれ、主催者を代表して島野容三会長が開会の挨拶を行い、今村雅弘衆議院議員、栗田豊滋経済産業省 製造産業局生活製品課企画官、公益財団法人日本釣振興会の高宮俊諦会長が祝辞を述べられました。その後、国土交通省、海上保安庁、水産庁、大阪釣具協同組合、ASA、EFTTAのご来賓を交えてテープカットが行われました。また、開会式に引き続き、臨港パーク「潮入の池」において、ご来賓とともに地元の保育園児を迎え、LOVE BLUE事業放流式典を実施致しました。

今回の開催に当たり、「釣り文化」を創造し、健やかな未来を育む」という新たな開催理念を掲げ、釣り界の将来を見据えた国民的レジャースポーツにするために、「釣り」を通して豊かな社会に貢献する未来を創造したいという思いを持って、開催準備を進めてまいりました。

世界が認める品質と人気を誇る、最新の釣具・用品の進化と魅力の紹介はもちろんのこと、「ディープな魅力、ライブな感動」をテーマに釣りの奥深い、また幅広い楽しみを存分に体感いただき、釣りファンの裾野を広く、若年層、女性層にまで広げたいと考え、そのための施策や試みをふんだんに盛り込んだ結果が来場者の増員に繋がったものと考えております。

次回のジャパンフィッシングショー2019 in YOKOHAMAは、来る2019年1月18日(金)～1月20日(日)に、今年と同じパシフィコ横浜での開催が決定しております。「より広く、より深く」釣りの世界観を発信するというショーのコンセプトを継続し、最新情報をいち早くご紹介できる機会づくりを目指してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

区 分/日付	第1日目			第2日目			第3日目			総合計			
	1/19(金)	前年度	前年比	1/20(土)	前年度	前年比	1/21(日)	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	
入場者数 内訳明細	1. 釣用品関係者	1,244	1,311	94.9%	64	154	41.6%	100	63	158.7%	1,408	1,528	92.1%
	2. 一般入場者	4,723	3,415	138.3%	13,807	13,845	99.7%	14,159	14,627	96.8%	32,689	31,887	102.5%
	3. 身障者	164	95	172.6%	363	415	87.5%	398	386	103.1%	925	896	103.2%
	4. 高校生以下	205	117	175.2%	2,449	1,279	191.5%	2,012	1,694	118.8%	4,666	3,090	151.0%
	5. プレス関係者	263	233	112.9%	86	134	64.2%	193	81	238.3%	542	448	121.0%
	6. その他(招待者等)	298	202	147.5%	485	339	143.1%	488	245	199.2%	1,271	786	161.7%
	小計	6,897	5,373	128.4%	17,254	16,166	106.7%	17,350	17,096	101.5%	41,501	38,635	107.4%
男女別 内訳明細	1. 男 性	5,999	4,770	125.8%	14,139	13,516	104.6%	13,811	13,852	99.7%	33,949	32,138	105.6%
	2. 女 性	898	603	148.9%	3,211	2,650	121.2%	3,443	3,244	106.1%	7,552	6,497	116.2%



会場俯瞰



オープニングセレモニー

HAPPY! FRIDAY



FRIDAY特典クジ



憧れのトップアングラ―大集合!
大競り市!



横浜に“釣りよか。”参上!



アフター4無料ドリンクサービス

横浜市民招待



にじいろ保育園

釣種エリア



バス・ソルト・船PRスペース

キャストイング コーナー



学生限定キャストイング教室



介護老人福祉施設ハートケア横浜



へら鮒PRスペース

ファイト フィッシング



メイン ステージ



トップアングラ―トーク&ライブ
(レディーストーク)

クール・アングラ―ズ・ アワード

釣りファンの拡大、釣りのイメージ向上に貢献した「カッコいい」著名人として工藤静香さんが受賞しました。



アングラ―ズアイドル

第8代アングラ―ズアイドルは、^{ひろせま}廣瀬麻伊さんが、アクティブで爽やかな印象に好感がもて、フィッシングウェアが映え、躍動感あふれる雰囲気
が選考委員の目に留まり選出されました。「アングラ―ズアイドル」は、釣りに直接興味を持っていない方々にも、釣りに関心を持っただき、釣りの楽しさを知っていただくきっかけをつくることを目的としています。今後、カッコいい釣り姿で、アンバサダーとして一年間活躍してくれることを期待しています。



つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業からのお知らせ

Japan Fishing Show 2018 in YOKOHAMAにて放流式典を初開催！

今回のショーでは、新たに開催理念を「“釣り文化”を創造し、健やかな未来を育む。」と位置づけ、当会が取り組む、LOVE BLUE事業を広くご紹介するため、ご来賓のみなさまや未来を担う子どもたちと一緒に、放流式典を実施致しました。（放流式典と本牧海釣り施設にてカサゴ5,000尾を放流）



JAF2018に出展



4万1千人を超える来場者に向け、LOVE BLUE事業の取り組み・成果を紹介致しました。

プロダイバー水中クリーンアップ

10月～12月までの実績

10/3～10/6	4日間	岐阜県岐阜市 長良川
10/10～10/13	3日間	愛知県犬山市 入鹿池
10/17～10/21	5日間	滋賀県草津市 北山田漁港
10/24～10/28	5日間	滋賀県大津市 堅田漁港
10/31～11/4	5日間	滋賀県守山市 木浜漁港
11/8～11/11	4日間	滋賀県大津市 瀬田舟溜
11/12～11/14	3日間	滋賀県高島市 針江大川舟溜・新川舟溜
11/22～11/24	5日間	和歌山県海南市 戸坂漁港・シモツピアランド
11/29～12/3	5日間	三重県尾鷲市 尾鷲港

合計 5県39日間実施（本年度累計 24道県134日間実施：うち新規実施5県）
黄色：新規実施都道府県



岐阜県 長良川



和歌山県 戸坂漁港

地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

ジャパンフィッシングショー in YOKOHAMA 2018のメインステージにて、全国各地で水辺の環境保全活動に取り組む、LOVE BLUE助成を受けた6団体の代表者の方々に各地からお集まり頂き、4万1千人を超える来場者に向け、活動報告を行って頂きました。





1/19 (金) 島根県
NPOアンダンテ21



1/20 (土) 岡山県
NPOグリーンパートナーおかやま



1/20 (土) 石川県
NPO能登半島おらっちゃんの里山里海



1/21 (日) 長崎県
やったろう de 高島



1/21 (日) 福岡県
一般社団法人ふくおかFUN



1/21 (日) 山梨県
NPO未来の荒川をつくる会

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット推奨表を作成

信頼あるライフジャケットをご着用頂けるよう、これまでの国土交通省型式承認品ライフジャケット「桜マーク付：ポスター左下」並びに、日本小型船舶検査機構 性能鑑定適合品レジャー用ライフジャケット（固型式）「CS-JCIマーク付：ポスター右下」を当会は推奨し、店頭ポスターや業界統一の啓蒙タグ等で普及啓発に取り組んでいますが、さらにユーザーのみなさまのご理解に資するよう、新たに、「推奨表」を作成致しました。（下掲左）

「推奨表」

ライフジャケット対応表		Type A	Type D	Type F	Type G
使用可能なライフジャケット	国土交通省型式承認品	○	○	○	○
	日本小型船舶検査機構性能鑑定適合品	○	○	○	○
	国土交通省型式承認品	○	○	○	○
	日本小型船舶検査機構性能鑑定適合品	○	○	○	○
備考		○	○	○	○

「店頭ポスター」



詳しくは、当会ホームページ「規格・安全」をご覧ください。（推奨表がダウンロードできます）

業界統一タグ



これまでの当会のライフジャケットの取り組みとともに、2月1日から国土交通省型式承認品ライフジャケットの常時着用範囲が拡大するため、国土交通省海事局からと、海上保安庁がそれぞれメインステージでライフジャケット講習会を開催！



1/20 海上保安庁



1/21 国土交通省海事局と浮くぞう君

両日共に
つりビットも
登場!!

JAF2018当会ブースにて、会員企業による業界統一規格・基準制定等への取り組みを関連製品と共に紹介

【環境保全eマーク】



【釣糸JAFS基準】



【釣用加工餌の製品安全ガイドライン】



【ライフジャケット性能基準】



国土交通省型式承認品膨脹式ライフジャケット無償点検

ワーキンググループ各社製品と業界統一の普及啓発ポスター等を展示。
連携出展：日本小型船舶検査機構・(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会・(一社)日本マリン事業協会

ライフジャケット関連団体との連携

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が、Japan Fishing Show2018 会場内にて、遊漁船業務主任者更新講習、ボート免許更新講習及びボート免許早分かり講座を実施。当会からの要望を受け、各講習、講座においてレジャー用ライフジャケットに関する説明も実施して頂きました。



ボート免許更新講習を受講された当会 鈴木健一 理事



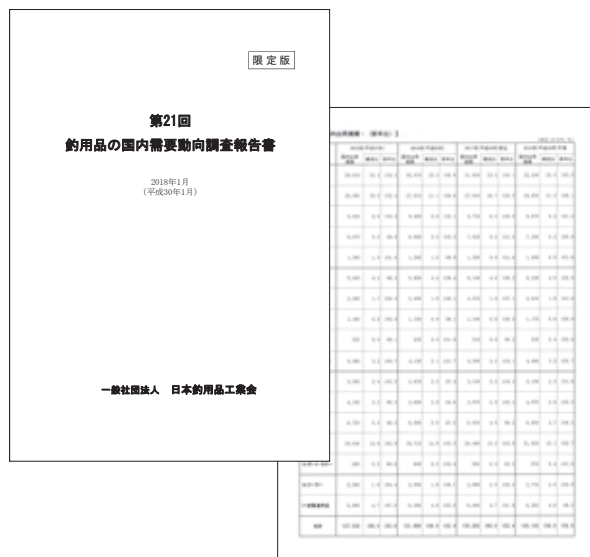
レジャー用ライフジャケットの説明

第21回「釣用品の国内需要動向調査報告書」発刊のご案内

当工業会は、2018年2月に第21回目となる「釣用品国内需要動向調査」報告書を発刊します。「釣用品国内需要動向調査」は、釣用品メーカーを対象に国内釣用品の出荷量を調査、その回答結果を元にメーカー出荷ベースの釣用品市場規模を算出、更に商品分野別の動向や輸出入統計データ等を掲載した資料です。皆様の商品戦略、営業政策など各種戦略立案のための基礎データとしてご活用頂ければ幸いです。今回は前回（第20回）に引き続き「ソルトルアー市場の詳細分析」の品目別出荷金額の単純集計値を掲載しております。

【調査結果の要約】

2016年の釣用品国内出荷規模は対前年比103.4%の1,318億9,000万円の成長となった。また、2017年の釣用品国内出荷規模（見込）は対前年比102.4%と引き続きプラス成長の見込となりました。



第21回理事会報告

去る、平成29年11月27日（月）に、ANAクラウンプラザホテル神戸会議室において第21回理事会が開催されましたのでご報告いたします。

第1号議案 各委員長より委員会活動の報告があり承認されました。

(1) LOVE BLUE委員会

参加総数／「内水面 釣り場拡大事業 ワカサギ」事業計画（案）。

(2) JAF実行委員会

JAF2017出展応募状況／来場者動員関連／金曜日動員施策／LOVE BLUE事業放流式典／横浜市民招待／広告スペース申込み状況／ジャパンフィッシングショー開催日程。

(3) 規格・安全委員会

船上での桜マーク（国交省型式承認品）のLJ着用義務／LJ着用の普及活動。

(4) 市場調査委員会

第21回釣用品の国内需要動向調査回答状況の報告／商品分野別市場規模推計値と現時点での集計値／報告書の精度向上の取り組み。

(5) JAF動員特別委員会

「釣りのミライ会議」開催報告。

第2号議案 企画プロジェクト活動報告があり承認されました。

「あした、釣りにこ！通信」の進捗状況／日釣工のあるべき姿について。

第3号議案 平成29年度中間決算監査の報告があり承認されました。

第4号議案 会員代表者変更及び入・退会会員に関する報告があり承認されました。

第5号議案 （一社）日本釣用品工業会規則・規定改正に関する報告があり承認されました。

第6号議案 （一社）日本釣用品工業会 名義使用許諾申請に関する報告があり承認されました。

第7号議案 その他報告承認事項に関する報告があり承認されました。

平成30年度会議開催日程（案）／JAF2018 -in YOKOHAMA-開催に当たってのお願い／ロイヤルアングラ賞2018。

以上

会員向け初回無料法律相談の実施：随時受付中！

9月1日より、会員の皆様へ初回無料にて、法律相談をご利用いただける新サービスの提供を開始致しました。詳細は、別添資料もしくは当工業会ホームページをご覧ください。

ロイヤル アングラー賞 2018

ロイヤル アングラー賞は、様々な分野でご活躍されている方々の中から日頃フィッシングに対し造詣が深く、フィッシングを趣味とし愛好されている方及び釣り文化の発展に貢献されている方に対し「ロイヤル アングラー」として表彰させていただく企画です。

今年度は、俳優の近藤正臣様を受賞されました。



釣り歴

京都で生まれた私は、子供の頃から、高瀬川や賀茂川でウナギなどを獲っては遊んでいた。水に関わる趣味に興味を持ち、スクーバダイビングを始めたが、魚の姿に魅かれ釣りを始めるようになり、ハゼやキス釣りに興じるようになった。そんな時、ロケで訪れた岐阜県郡上八幡で、ふと橋の上から吉田川を見下ろすと清流の中で無数の渓魚が泳ぐ姿に感動し、渓流釣りに興味を覚え吉田川に通うようになった。遂には郡上八幡に居を構えるようになり、仕事の合間を見つけては川面に立っている。

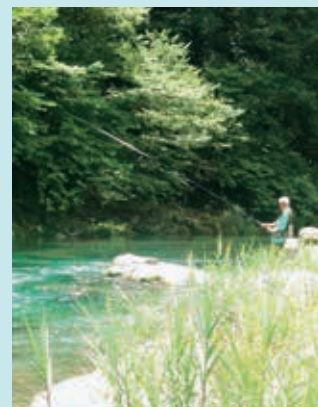
好きな釣り

南米等海外での釣りも楽しんだが、一番好きな釣りは、豊かな自然に抱かれた日本での渓流の釣り。大好きな吉田川では、アマゴを主な対象にテンカラ、フライ、餌釣りを楽しんでいる。また、釣りを通じて、郡上地方に脈々と流れる釣りの文化と自然を愛する人々に接する機会にも恵まれる事ができた。機能美溢れる伝統的な郡上竿、郡上魚籠にも惹かれ、多くの地元の釣り人とも交流を深めている。卓越した釣りの技術と自然への造詣の深さから釣聖と言わ

れた名人恩田俊雄翁と身近に接しその釣技に触れることができた事は忘れ得ぬ思い出である。

釣りの魅力

釣りの魅力 — つくづく不思議だと思う。何故かわからないのに、溪流（かわ）に対峙してしまっている。何が魅力かわからないのに、気が付くと 溪流（かわ）に立ち込んでしまっている。不思議…。そこには不思議な魅力が溢れている。



会員動向

※会員企業新代表者就任のお知らせ

◆株式会社エムワントレーディングの取締役会長に櫻本雅一氏が就任され、代表取締役社長に櫻本尚士氏が就任されました。

※移転のお知らせ

◆株式会社デュオは下記へ移転しました。
〒421-0201 静岡県焼津市上小杉701
TEL 054-291-7730 FAX 054-291-7731

※住所表示変更のお知らせ

◆ラパラ・ジャパン株式会社
〒596-0825 大阪府岸和田市土生町7丁目1番4号

※訂正とお詫び

◆第68回の掲載で、株式会社レスターファインの社名変更により誤りがございました。
正しくは、フィッシュ・アンド・ハート株式会社です。
訂正してお詫び申し上げます。



事務局だより

■明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。本年も事務局職員一同各事業の推進と当工業会の活性化を図ってまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F
TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>